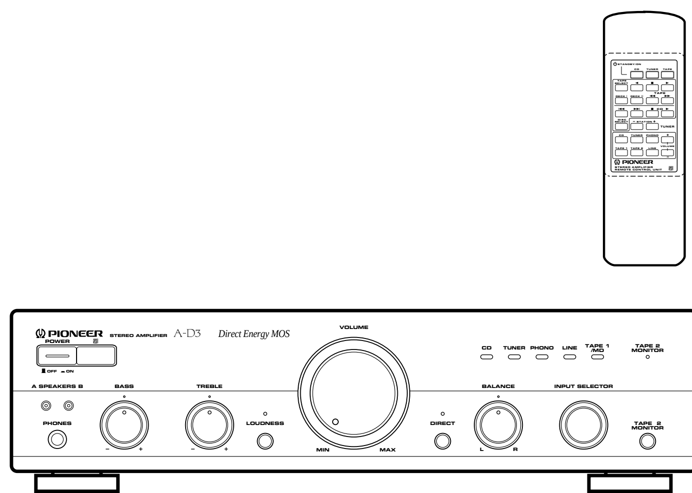
PIONEER
——音と光の未来をひらく——

A-D3

ステレオプリメインアンプ

取扱説明書

高調波ガイドライン適合品



パイオニア製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書及び別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」及び「安全上のご注意」は「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。

目次

お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



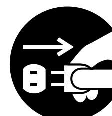
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意 (付属の「安全上のご注意」もお読みください)

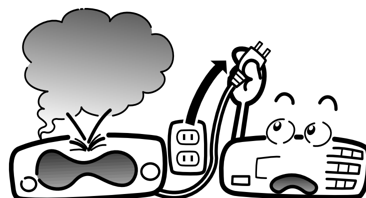
 **警告**

〔異常時の処置〕

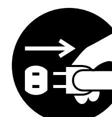
● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



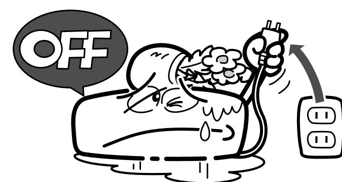
プラグを抜け



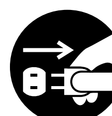
● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



特長

■ ダイレクトエナジーMOSアンプ回路搭載

高性能パワー素子、HEX POWER MOS FETを採用。ロスが少ないため、パワーリニアリティーが良く、低負荷ドライブ能力が高くなっています。

■ ワイドレンジリニアサーキット

電流帰還型回路による1段増幅で、電流リニアリティーに優れ出力インピーダンスが低域から高域までフラットであるため、確かなスピーカードライブを実現しています。

■ 極太電源コード

電源極性の管理とあいまって音場豊かな再生音が得られます。

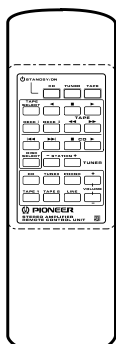
■ 金メッキ入出力端子

■ 低消費電力設計

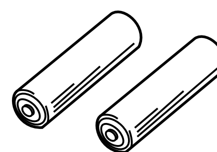
当社従来比、約30%消費電力を低減しました。

付属品の確認

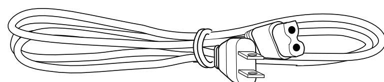
■ リモコン 1



■ 単3形乾電池(AA/R6P) 2



■ 電源コード 1本



■ 取扱説明書(本書)

■ 保証書

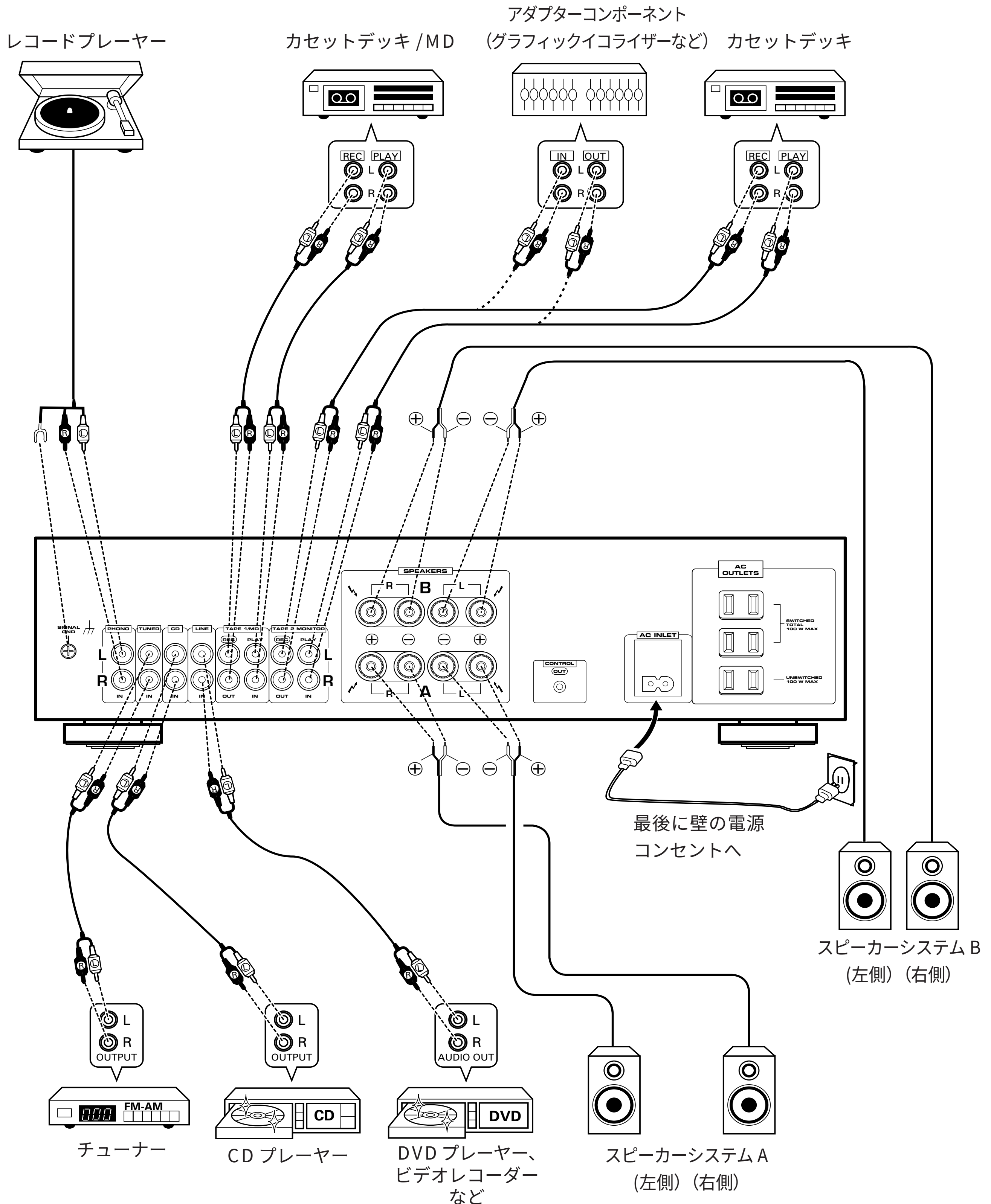
■ 安全上のご注意

■ ご相談窓口・修理窓口のご案内

接続のしかた

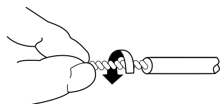
接続図

電源コードはすべての接続が終わってから壁の電源コンセントへ接続してください。

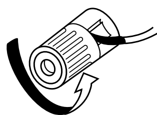


スピーカーコードのつなぎ方

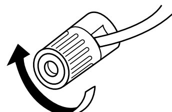
1. ビニールをはがして
先端をそろえる。



2. つまみをゆるめ、
コードを端子の穴に
差し込む。



3. つまみを締め付けて
コードを固定する。



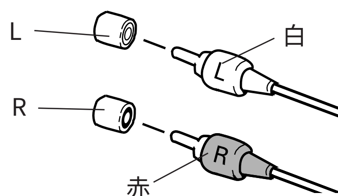
ご注意
端子からコードの芯線がはみ出して、他の芯線と触れないようにしてください。芯線どうしが触れていると、機器を故障させる恐れがあります。

■ スピーカーインピーダンスについて

接続するスピーカーシステムにて スピーカーA、B端子のいずれか片方のみを使用する時は、インピーダンスが4 Ω ～16 Ω のものを使用してください。また、A、B同時に接続するときはインピーダンスが 8Ω～ 32Ωのものを使用してください。スピーカーインピーダンスの値については、接続するスピーカーの取扱説明書をお調べください。

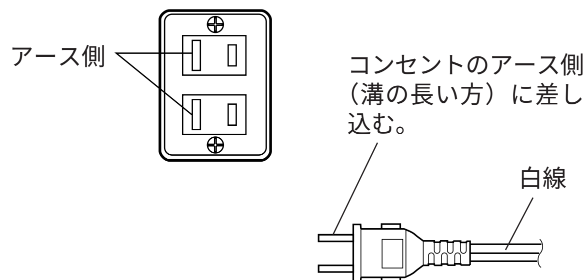
入力、出力コードのつなぎ方

白いプラグはＬ側、赤いプラグはＲ側につなぎます。必ず、奥まで差し込んでください。



電源コードのつなぎ方

家庭用コンセントの交流電源には極性があり、アース側が大地につながれています。
本機では、この極性を音質向上のために利用しています。

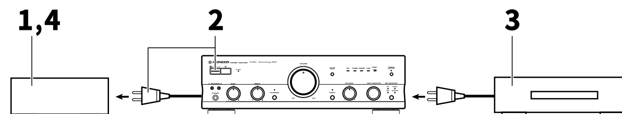


ご注意
ただし、環境によっては反対に接続した方が音質的に良い場合がありますので、お客様ご自身で音質をご確認の上、接続してください。

● 本機の電源コードは着脱式になっております。(電流容量7A) 付属以外の電源コードを使用される方は、お客様ご自身の責任において使用していただくことになります。

タイマー録音 / 再生

オーディオタイマーを接続すると、希望の時刻に録音や再生を始めることができます。
（オーディオタイマーや再生する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。）



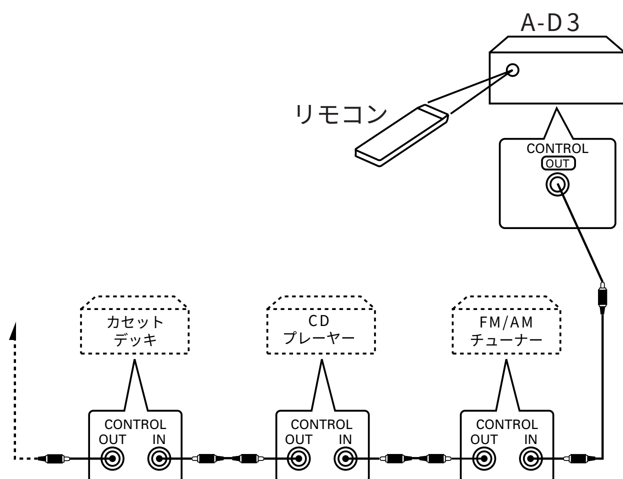
1. オーディオタイマーの電源スイッチをON にする。
2. 本機の電源コードをオーディオタイマーの電源コンセントにつなぎ、本機の電源スイッチを ON にする。
3. 再生する機器と録音する機器の準備をする。
4. タイマーを希望の時刻に設定する。
接続された機器の電源はいったん切れますが、機器の電源スイッチは入れたままにしておいてください。

接続のしかた

リモートコントロールコードのつなぎ方

パイオニアのSRマークの付いた製品（FM/AMチューナー、CDプレーヤー、カセットデッキ等）を市販のミニプラグ付コード（抵抗なし）を使って接続すれば、システム全体を本機の付属リモコンで操作することができます。

1. 本機のリアパネル部にあるコントロール出力端子と操作したい製品のコントロール入力端子を市販のミニプラグ付コード(抵抗なし)で接続します。
2. 操作したい製品が 2 台以上ある場合は、さらに 1 台目のコントロール出力端子と 2 台目のコントロール入力端子を、同じく市販のミニプラグ付コード(抵抗なし)で接続します。3 台目以降を接続するときは 2 台目と同様にしてください。

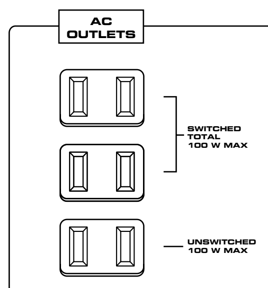


[ご注意]

- 必ず「OUT」と「IN」を接続するようにしてください。
- 接続する製品の順番には、特に決まりはありません。
- 本機の付属リモコンで操作できるのはSRマークの付いたカセットデッキ、CD プレーヤー、チューナーの一部の機能です。
  製品が持っている機能であっても、本機のリモコンで動作させることのできない機能もあります。
  本機のリモコンに操作ボタンのある機能であっても、製品が持っていない機能は動作させることはできません。

電源コンセント (AC OUTLET)へのつなぎ方

リアパネル部にある電源コンセントはそれぞれ100Wまでの製品を接続することができます。



⚠ 注意

接続する機器の消費電力について

- 消費電力がパネルに表示されている W の数値をこえる電気機器（トースター、ドライヤーなど）は、絶対につながないでください。機器の故障や火災の恐れがあります。
- テレビやモニターなどは表示されている消費電力値が許容値より少なくても、電源を入れたときに大きな電流が流れて、許容値をこえる場合がありますので、絶対に接続しないでください。機器の故障や火災の恐れがあります。

■ 電源コンセント SWITCHED （スイッチ連動 100W 以下）

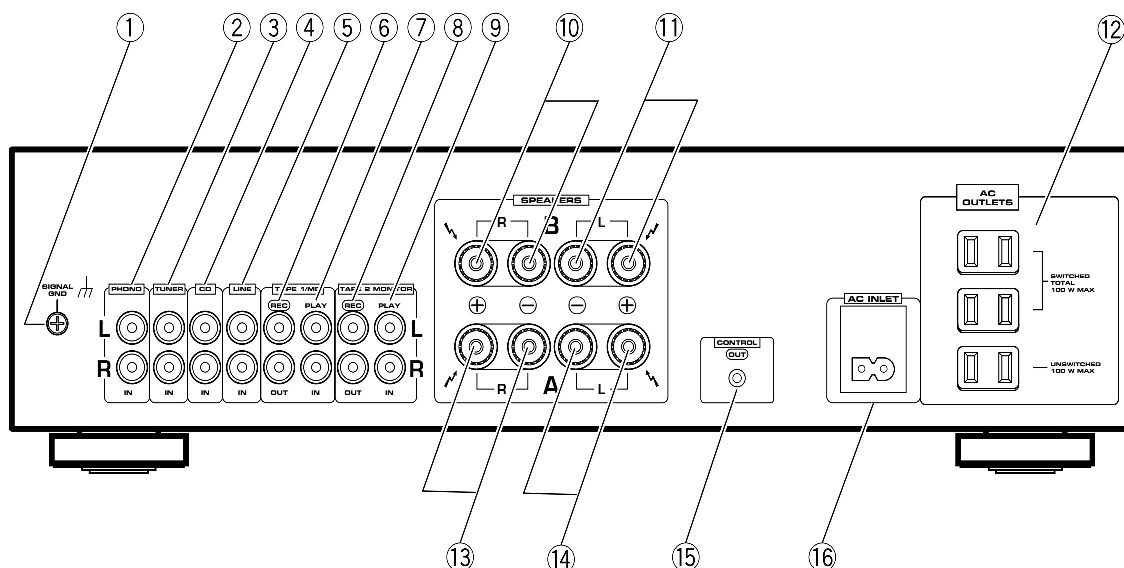
- 本機の電源スイッチの POWER ON/OFF 切り換えに連動して、接続した機器（電源スイッチを ON にしておく）の電源を ON-OFF します。
- 接続する機器の消費電力の合計が 100W をこえないように注意してください。

■ 電源コンセント UNSWITCHED （スイッチ非連動 100W 以下）

- 本機の電源スイッチの POWER ON/OFF 切り換えに関係なく、接続した機器につねに電源を供給します。（接続した機器の電源スイッチでON-OFF切り換えをしてください）。
- 接続する機器の消費電力の合計が 100W をこえないように注意してください。

各部の名称と働き

■ リアパネル部



① **PHONO 用 SIGNAL GND 端子**
レコードプレーヤー等を接続した場合の雑音の低減をはかる為のものです。安全アースではありません。

② **PHONO 端子**

③ **チューナー端子(TUNER)**

④ **CD 端子**

⑤ **ライン端子(LINE)**

⑥ **TAPE1/MD REC OUT(出力）端子**

⑦ **TAPE1/MD PLAY IN （入力）端子**

⑧ **TAPE2 MONITOR REC OUT（出力）端子**

⑨ **TAPE2 MONITOR PLAY IN (入力) 端子**

⑩ **スピーカー B 端子(R（右）チャンネル)**

⑪ **スピーカー B 端子(L（左）チャンネル)**

⑫ **電源コンセント (AC OUTLETS)**(6 ページ参照)

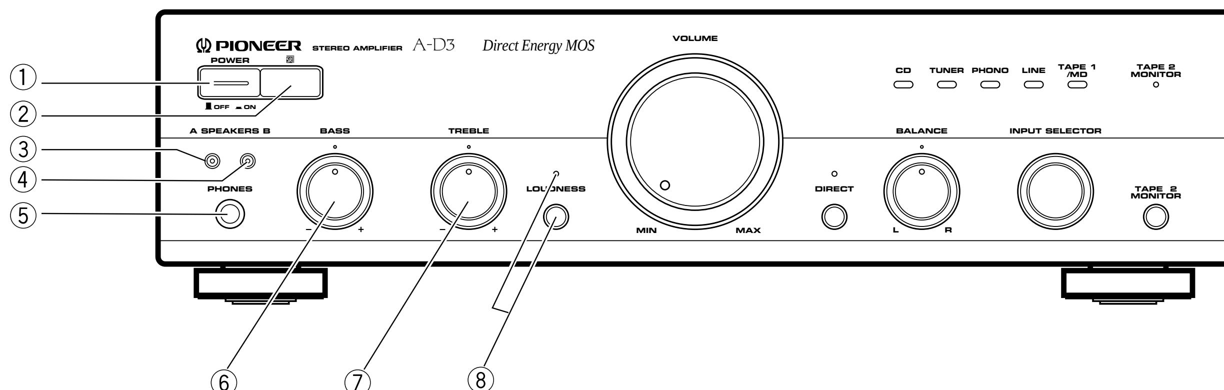
⑬ **スピーカー A 端子 (R（右）チャンネル)**

⑭ **スピーカー A 端子 (L（左）チャンネル)**

⑮ **コントロール出力端子**
リモコンの信号を出力するための端子です。
SR マークの付いた製品を、この端子を使って接続すれば、それらの製品も本機のリモコンで動かすことができます。(6 ページ参照)

⑯ **電源入力端子（AC INLET)**

■ フロントパネル部



① 電源スイッチ(POWER ■OFF/▁ON)

本機の電源のON/OFFを切り換えます。電源スイッチを１度押すと電源が入り、もう１度押すと電源が切れます。

② リモコン受光部

③ スピーカー A(ON/OFF)ボタン (SPEAKERS A)/ インジケーター

スピーカーＡ端子につないだスピーカーシステムのON/OFF を切り換えます。

ON(インジケーター点灯) ：スピーカーシステム A から音が出ます。（ヘッドホン端子からも音が出ます。）

OFF(インジケーター消灯) ：スピーカーシステム A から音は出ません。ヘッドホンを使うときにはこの位置にします。

④ スピーカー B(ON/OFF)ボタン (SPEAKERS B)/ インジケーター

スピーカーＢ端子につないだスピーカーシステムのON/OFF を切り換えます。

ON(インジケーター点灯) ：スピーカーシステム B から音が出ます。（ヘッドホン端子からも音が出ます。）

OFF(インジケーター消灯) ：スピーカーシステム B から音は出ません。ヘッドホンを使うときにはこの位置にします。

⑤ ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンを使用するときに、プラグを差し込みます。

⑥ 低音調整つまみ(BASS)

低音部の音質を調整します。

中央の位置が標準で右側に回すと低音が増加し、左側へ回すと減少します。

[ご注意]

ダイレクトボタンが ON のときは働きません。

⑦ 高音調整つまみ(TREBLE)

高音部の音質を調整します。

中央の位置が標準で右側に回すと高音が増加し、左側へ回すと減少します。

[ご注意]

ダイレクトボタンが ON のときは働きません。

⑧ ラウドネスボタン(LOUDNESS)/インジケーター

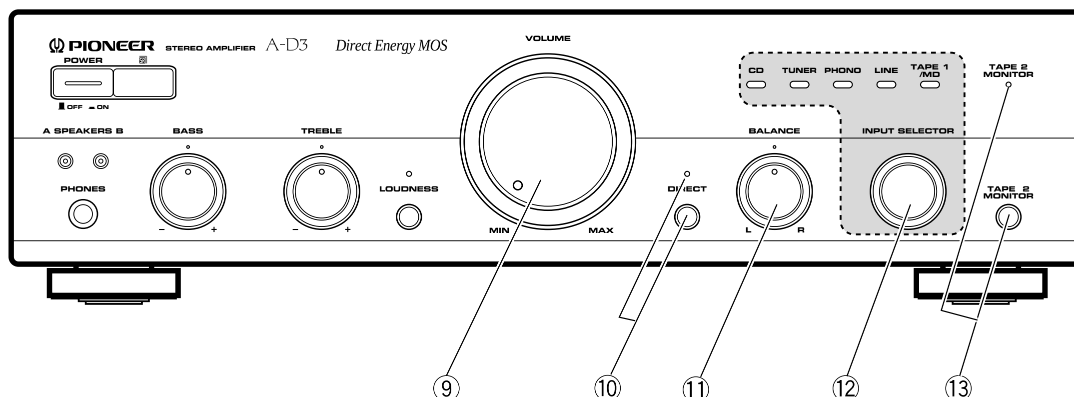
小さな音量で聞くときに使います。

ON(インジケーター点灯) ：低音と高音を増強し、小さな音量でも迫力のある再生音をきくことができます。

OFF(インジケーター消灯) ：通常はこの位置で使います。

[ご注意]

- ダイレクトボタンが ON のときは働きません。
- 本機は音量を上げるとラウドネスの変化量は小さくなります。



⑨ ボリュームつまみ(VOLUME)

音量を調整します。(ヘッドホンの音量も調整)

⑩ ダイレクトボタン(DIRECT) / インジケーター

ON(インジケーター点灯) : 各種調整回路(BASS、TREBLE、BALANCE)を通さずに音声信号をダイレクトに出力します。低高音調整、ラウドネスおよびバランスは無効になります。

OFF(インジケーター消灯) : 各種調整回路(BASS、TREBLE、BALANCE)を通した音声信号を再生します。低高音調整、ラウドネスおよびバランスの調整ができます。

⑪ バランスつまみ(BALANCE)

通常は中央の位置にしておきます。片方のスピーカーからの音量が大きい場合にバランスを調整します。右側が大きいときにはL(左)側へ、左側が大きいときはR(右)側へ回します。

[ご注意]

ダイレクトボタンがONのときは働きません。

⑫ 入力切換スイッチ(INPUT SELECTOR)/ インジケーター

再生する機器を選択します。選択された機器のインジケーターが点灯します。

CD :CDプレーヤーでコンパクトディスクをきくとき。

TUNER :チューナーでFM, AM放送をきくとき。

PHONO :レコードプレーヤーでレコードをきくとき。

LINE :LINE端子につないだ機器を再生するとき。

TAPE1/MD :TAPE1/MD端子につないだカセットデッキやMDレコーダーを再生するとき。

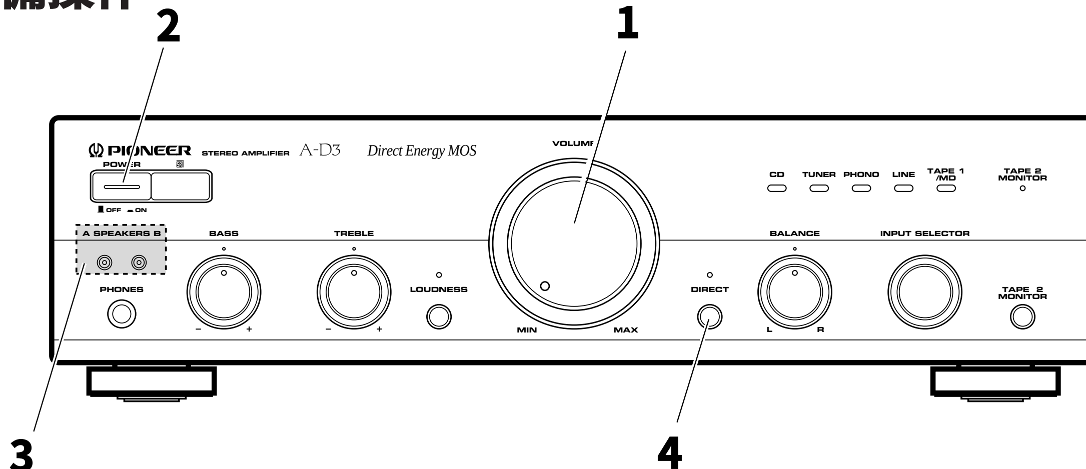
⑬ テープ2モニターボタン(TAPE2 MONITOR)/ インジケーター

ON(インジケーター点灯) : TAPE2 MONITOR端子につないだカセットデッキ等の音声信号を再生します。

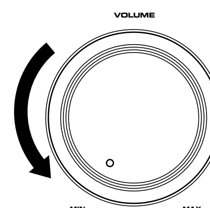
OFF(インジケーター消灯) : 入力切換スイッチで選択された機器の音声信号を再生します。

操作のしかた

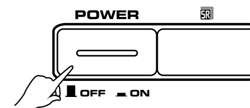
■ 準備操作



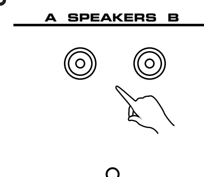
1 **ボリュームつまみを MIN の位置にする。**



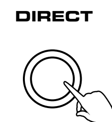
2 **電源スイッチを ON にする。**



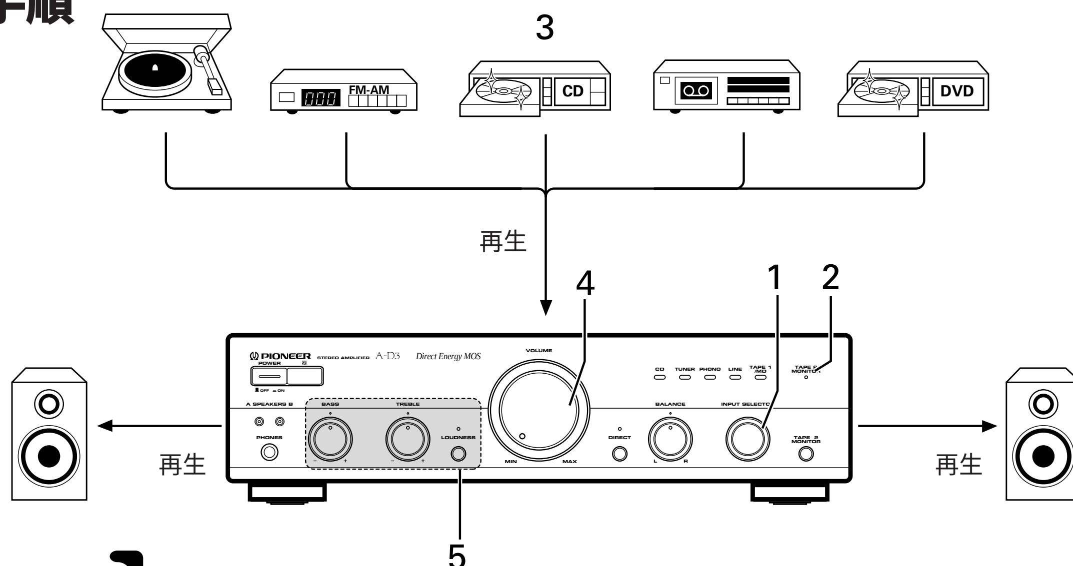
3 **使用するスピーカーのボタンを ON にする。**
インジケーターが点灯します。



4 **ダイレクトボタンを OFF にする。**
インジケーターが消灯します。



■ 再生手順



1 再生する機器に合わせて、入力切換スイッチを切り換える。

コンパクトディスクをきくとき	：[CD]にする。
FM, AM 放送をきくとき	：[TUNER]にする。
レコードをきくとき	：[PHONO]にする。
LINE 端子に接続した機器をきくとき	：[LINE]にする。
TAPE1/MD 端子に接続したカセットデッキ等をきくとき	：[TAPE1/MD]にする。

PHONO を選んだときは、5 秒間のミューティングがかかります。

2 テープ 2 モニターボタンを OFF にする。

TAPE2 MONITOR 端子に接続したカセットデッキ等をきくときはテープ 2 モニターボタンを ON にする。このときテープ 2 モニターインジケーターが点灯します。

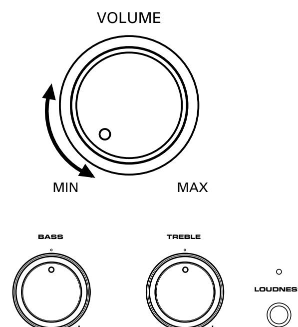
グラフィックイコライザーを使った再生

TAPE2 MONITOR端子にグラフィックイコライザーをつなぐと、より細かな音質のコントロールができます。

ご注意 TAPE2 MONITOR端子にグラフィックイコライザーなどのオーディオアダプターをつないでご使用になるときは、必ずオーディオアダプターの電源も ON にしてください。オーディオアダプターによっては OFF のときアンプ側から音が出なくなるものがあります。

3 再生する機器を操作して、再生を始める。

4 ボリュームつまみで音量を調整する。

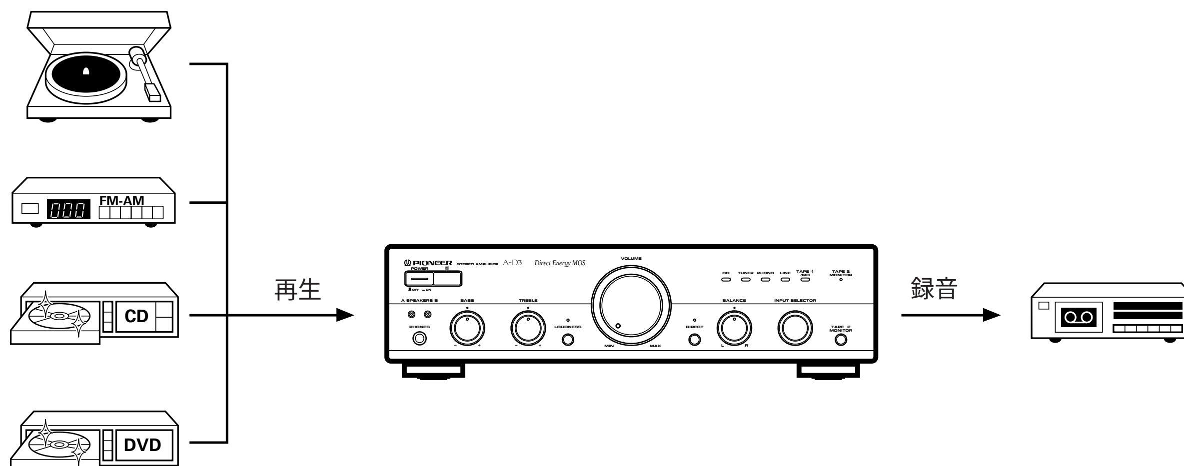


5 高音、低音調整つまみ、ラウドネスボタンで好みの音質に調整する。

ダイレクト ボタンが ON のときは、これらの調整はできません。

操作のしかた

■ 録音するとき



入力切換スイッチ(INPUT SELECTOR)で選んだ機器の音をカセットデッキに録音できます。

1. 入力切換スイッチ(INPUT SELECTOR)で再生する機器（録音したい機器）を選ぶ。

- TAPE1/MDを選ぶとTAPE1側のカセットデッキには録音できません。
- TAPE1側のカセットデッキで録音する場合、テープ2モニターボタンはOFFにしてください。

2. 録音に使用するカセットデッキにテープを入れ録音操作を行う。

＜モニターするとき＞

TAPE2 MONITOR端子に接続したカセットデッキで録音するときは、どの再生機器からの録音でも可能です。

① 入力切換スイッチで再生する機器を選ぶ。
② 録音中に、テープ2モニターボタンをONにする。

MEMO

テープ録音（コピー）中のモニターについて

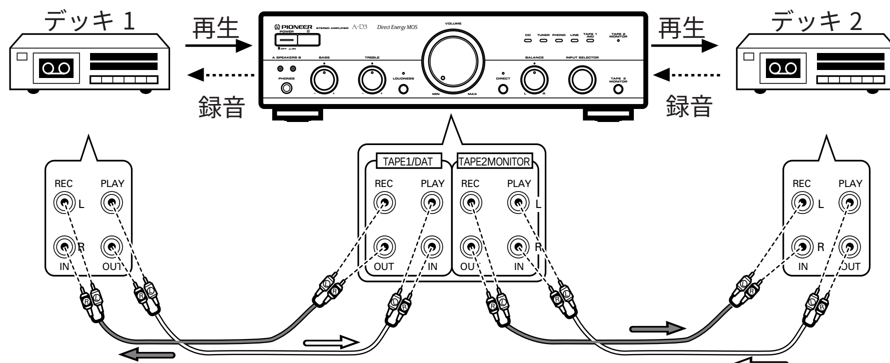
録音（コピー）中に音声信号の内容、録音レベルや音質を監視することをモニターといいます。
TAPE2 MONITOR端子に3ヘッド式のカセットデッキを接続し、テープ2モニターをONにすると、テープ録音（コピー）中に、録音された音を同時に聞くことができます。

■ テープをコピーするとき

カセットデッキを2台ご使用になると、テープの音を別のテープに録音することができます。

応用例：

- 同じ内容のテープをもう1本作る。
- FM放送などを録音したテープを、コマーシャルなどの不要な所をカットして、好みの音楽だけを別のテープへ録音する。



TAPE1/MD端子に接続したカセットデッキ(デッキ1)からTAPE2 MONITOR端子に接続したカセットデッキ(デッキ2)にコピーするとき

1. **デッキ1に再生用のテープ(録音済テープ)、デッキ2に録音用テープをセットする。**

2. **入力切換スイッチをTAPE1/MDへあわせる。**

3. **カセットデッキを操作して、コピーを始める。**

デッキ2を録音状態にし、デッキ1を再生してください。

4. **モニターするときは、テープ2モニターボタンをONにする。**

TAPE2 MONITOR端子に接続したカセットデッキ(デッキ2)からTAPE1/MD端子に接続したカセットデッキ(デッキ1)にコピーするとき

1. **デッキ2に再生用のテープ(録音済テープ)、デッキ1に録音用テープをセットする。**

2. **入力切換スイッチをTAPE1/MD以外へ合わせる。**

3. **テープ2モニターボタンをONにする。**

4. **カセットデッキを操作して、コピーを始める。**

デッキ1を録音状態にし、デッキ2を再生してください。

[ご注意]

- コマーシャルなど不要な所をカットするには、コピー中に録音している側のデッキを一時停止します。
- デッキ2からデッキ1にコピーする場合、モニターはできません。
- 録音中に入力切換スイッチやテープ2モニターボタンを動かさないでください。動かすと録音の音が途切れます。

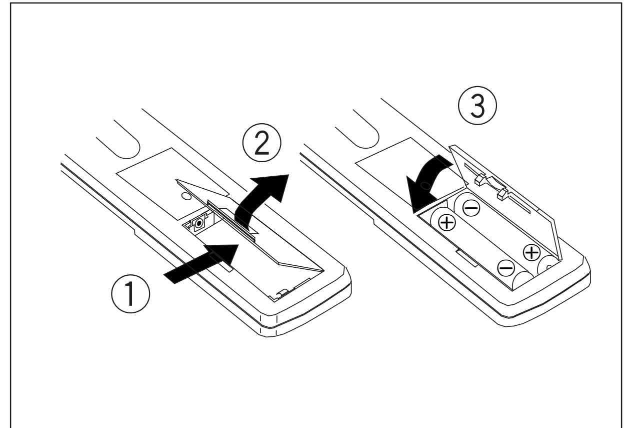
リモコン操作

■ リモコンの準備

1. リモコンの裏側の電池ケースのふたを開けます。ふたを押しながら矢印の方向に引き出すと簡単に開きます。

2. 付属の単３形乾電池(AA/R6P)２本を、電池ケース内の表示にしたがって入れます。

3. 電池ケースのふたを閉めます。



⚠ 注意

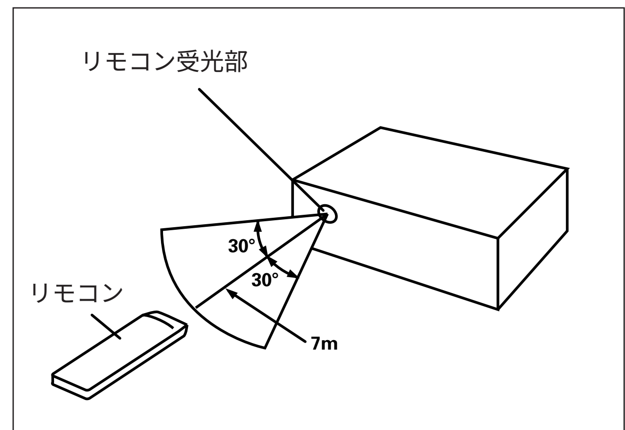
乾電池を誤って使用すると液もれや破裂するなどの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

1. 乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 長い間（1ヶ月以上）使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたしときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。

■ リモコンの操作可能範囲

リモコンの操作可能範囲は､リモコン受光部との距離が約 7m、角度が左右約 30 度までです。

- 本体受光部との間に障害物があったり､受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり､赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると､その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 長い間（1カ月以上）リモコンを使用しないときは､電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると､リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。



■ リモコンのいろいろな使い方

1 A-D3 を操作する。

⇨ 下図をご覧ください。

2 パイオニアの SR マークの付いた製品を操作する。

SR マークの付いたカセットデッキ、CD プレーヤー、チューナー、などのパイオニア製品を操作することができます。

⇨16 ページをご覧ください。

3 リモートコントロールコードをつないで SR マークの付いた製品を操作する。

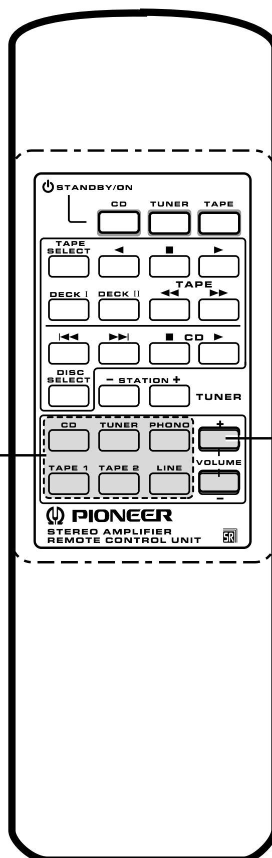
⇨ 6 ページをご覧ください。

2 と 3 で使用するときのご注意

このリモコンで操作できるのは、SR マークの付いたカセットデッキ、CD プレーヤー、チューナーなどの一部の機能です。
機器が持っている機能であっても、このリモコンで動作させることのできない機能もあります。
このリモコンに操作ボタンのある機能であっても、製品が持っていない機能は動作させることはできません。

A-D3 を操作するとき

入力切換ボタン
CD、TUNER、PHONO、TAPE1/MD、TAPE2、LINE の入力を選びます。

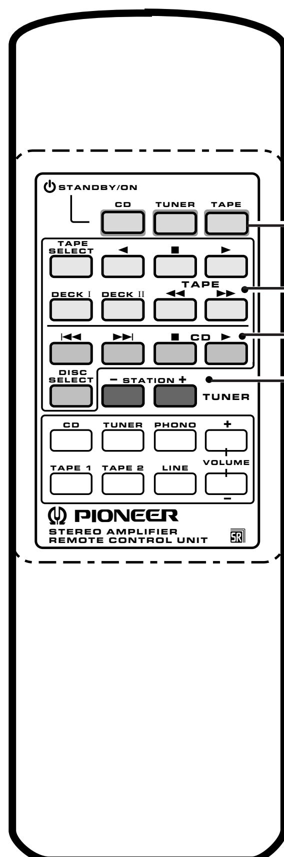


ボリュームボタン (VOLUME +, −)
音量を調節します。

本機以外のパイオニアの SR マークの付いた製品を操作するとき

本機以外のパイオニア製品の操作

＊ お手持ちの機器によっては機能しないボタンもありますので、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。



電源ボタン(POWER)

CD、チューナー、カセットデッキの電源の STANDBY/ON を切り換えます。

● カセットデッキの操作

• **テープセレクトボタン(TAPE SELECT):**
マルチカセットチェンジャーのカセット番号を選びます。

• **プレイボタン(◄, ►):**
矢印の方向に再生を始めます。

• **ストップボタン(■):**
テープ走行を停止します。

• **デッキ I ボタン(DECK I):**
DECK Iのカセットデッキを操作するときは、このボタンを押してから操作します。

• **デッキ II ボタン(DECK II):**
DECK II のカセットデッキを操作するときは、このボタンを押してから操作します。

• **早送りボタン(◄◄, ►►):**
テープを矢印の方向に早送りします。

● CD プレーヤーの操作

• **トラックサーチボタン(|◄◄):**
演奏中のトラック（曲）の始めに戻ります（トラックサーチ）。

• **トラックサーチボタン(►►|):**
演奏中の次のトラック（曲）の始めに進みます（トラックサーチ）。

• **ストップボタン(■):**
再生を停止します。

• **プレイボタン(►):**
再生を始めます。

• **ディスクセレクトボタン(DISC SELECT):**
マガジン式、ファイルタイプの CD プレーヤーのディスクを選びます。

● チューナーの操作

• **ステーションー、＋ボタン(STATION ー、＋):**
あらかじめ登録された放送局を呼出します。

故障？ちょっと調べてください

意外な操作ミスが故障と思われています。故障かな？…と思ったら、症状に合わせて下の項目をチェックしてみてください。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のステレオ製品および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下の項目をチェックしても直らない場合は、「アフターサービスについて」をお読みの上、修理を依頼してください。

症　　状	考えられる原因	処　　置
電源が入らない。	● 電源プラグがコンセントから抜けている。 ● 他の機器（タイマーなど）のコンセントに電源プラグをつないだ場合で、他の機器からの電源が切れている。 ● 電源プラグが AC インレットから抜けている。	● 電源プラグを正しく差し込む。 ● 他の機器の電源を入れる。 ● 電源プラグを正しく差し込む。
音がでない。	● 接続コードが端子からはずれている。または、間違えて接続されている。 ● 端子や接続コードのピンプラグが よごれている。 ● 入力切換 スイッチの位置が再生している機器と合っていない。 ● 他の機器の操作を間違えている。 ● スピーカー切換ボタンが OFF になっている。 ● テープ 2 モニターボタンが ON になっている（TAPE2 以外の機器をきく場合）。	● 確実に接続する。(4, 5 ページを参照) ● 端子やプラグのよごれを拭きとる。 ● スイッチを正しく切り換える。(PHONO, TUNER, CD, LINE, TAPE1/MD, TAPE2 MONITOR) ● 他の機器の取扱説明書を参照する。 ● ボタンを ON（A または B）にする。 ● テープ 2 モニターボタンを OFF にする。
片方のスピーカーから音がでない。	● 接続コードやスピーカーコードの片方がはずれている。 ● バランスつまみが左または右になっている。	● 確実に接続する。（4, 5 ページ参照） ● 中央に合わせる。
カセットデッキやMDに録音ができない。	● 接続を間違えている。 ● カセットデッキや MD の操作を間違えている。	● 正しく接続しなおす。(4 ページ参照） ● カセットデッキや MD の取扱説明書を参照する。
テープコピーができない。	● 入力切換スイッチの位置を間違えている。 ● カセットデッキの操作を間違えている。	● 正しい位置に切り換える。（13 ページ ”テープをコピーするとき ” を参照)。 ● カセットデッキの取扱説明書を参照する。
リモコンがきかない。（別売り機器が操作できない）	● リモコンに電池が入っていない。または電池が切れている。電池の入れ方を間違えている。 ● 本機と距離がありすぎる、または角度が悪い。 ● 本機との間に障害物がある。 ● 別売り機器のリモートコントロールコードが接続されていない。 ● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	● 電池を正しく入れる。または新しい電池に変える。 ● リモコンは本機との距離が約 7m 以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ 30° 以内で操作可能です。 ● リモコンの操作場所をずらすか、障害物をとり除いて操作する。 ● 正しく接続する。（6 ページ参照）。 ● 蛍光灯をリモコン受光部から離す。

静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチをON/OFFするか、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより、正常に動作します。

アフターサービスについて

■ 保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。



● 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

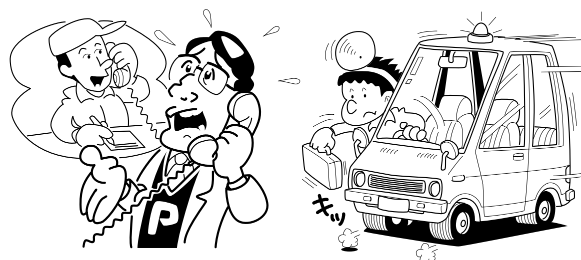
ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、後の処置をしてください。



● 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたは、お求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って、修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたは、お求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗料などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも､キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- ご訪問のご希望日
- 訪問先までの道順と目標（建物、公園など）

お客様メモ

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住　所 電話番号	お近くの ご相談窓口	住　所 電話番号
ご購入年月日	年　　月　　日	型　番	この機種は A-D3 です。

仕様

アンプ部

定格出力 *（両チャンネル駆動）
70W+70W(歪率 0.2%、20Hz～20kHz, 4Ω)
45W+45W(歪率 0.1%、20Hz～20kHz, 8Ω)
入力端子（感度／入力インピーダンス）
PHONO（MM）.. 2.8mV/50kΩ
CD, TUNER, LINE 他 200mV/50kΩ
PHONO 最大許容入力
PHONO MM（高調波歪率 0.1%, 1kHz) 150mV
出力端子（レベル／出力インピーダンス）
TAPE1/MD REC, TAPE2 MONITOR REC ....
.... 200mV/1kΩ
周波数特性（ダイレクトスイッチ ON）
PHONO(MM)......................... 20Hz～20kH ±0.3dB
CD, TUNER, LINE 他 .... 5Hz～100kHz $^{+0}_{-3}$ dB
トーンコントロール(VOLUME －30dB 位置)
BASS .... ±8dB(100Hz)
TREBLE ....±8dB(10kHz)
ラウドネスコンター(VOLUME －30dB 位置) ....
.... 100Hz/10kHz(+6dB/+3dB)
SN比（IHF A ネットワーク、ショートサーキット、ダイレクトスイッチ ON）
PHONO (MM)(5mV Input)................................ 85dB
CD, TUNER, LINE 他 108dB
スピーカー負荷インピーダンス(A, B) .... 4 ～ 16Ω
(A+B) .... 8 ～ 32Ω

電源部・その他

電源電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力（電気用品取締法）.................................. 110W
AC アウトレット ....
.... 電源スイッチ連動:2(合計 100W 以下)
.... 電源スイッチ非連動:1(100W 以下)
外形寸法（幅 x 高さ x 奥行）.... 420 x 114 x 307mm
質量 5.9kg

付属品

ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
安全上のご注意 1
取扱説明書 1
保証書 1
リモコン 1
単 3 形乾電池(AA/R6P) 2
電源コード（定格 7A) 1

＊ オーディオスペクトラムアナライザーによる測定。

● 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。



音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

お客様ご相談窓口(修理に関しては別添「ご相談窓口･修理窓口のご案内」参照)

お客様相談センター		TEL 03-3491-8181			
技術相談窓口	◎ 札　幌	TEL 011-644-4779	◎ 大阪	TEL 06-353-3705	
	◎ 仙　台	TEL 022-375-4417	◎ 広島	TEL 082-228-2239	
	◎ 名古屋	TEL 052-532-1141	◎ 福岡	TEL 092-441-8076	

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

パイオニア 株式会社　〒 153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<98A00ZF0P00>

<ARA7062-A>